



東京都立新宿山吹高等学校

学 校 説 明 会

定 時 制 課 程

令和2年度

第2回 10月 3日(土) 午後1時00分から

新宿山吹高校（定時制課程）

1 本校の特色

単位制 無学年制	<ul style="list-style-type: none"> ・1991(平成3)年に開校しました。今年で30年目になります。 ・都立で最初の「単位制」高校です。そして「無学年制」を採用している唯一の高校です。 ・「単位制」高校は、「科目ごとに修得した単位を、卒業まで積み重ねていく学校」です。一般的な、「1年ごとにカリキュラムを修了し、進級していく学校」とは異なります。 ・「無学年制」ですから、学年ごとに定められた科目はありません。生徒が進路・興味に応じて自分で科目を選択し、時間割を作成します。学年が存在しないので、1学年下のクラスで学び直す「原級留置(留年)」もありません。 ・自分のペースで勉強し、学校生活を送ることができます。その反面で「自主・自律」が求められます。 	
昼夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間目(8:40)から12時間目(21:10)まで授業が行われています。 ・生徒は、普通科1部～4部、情報科2部・4部の合計6部のいずれかに所属します。 ・自分の部の時間帯を中心に授業を受けますが、他の部の時間帯の授業を受けることもできます。 	
普通科 情報科	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科…国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、情報等を学びます。これらは一般的な全日制高校の普通科と同じ教科・科目です。 ・情報科…普通科の教科・科目と専門教科「情報」の科目を学びます。都内で唯一の「情報科」です。 	
時間割	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年3月に、生徒が自分の進路・興味や単位の修得状況などに応じて、1年間の時間割を作成します。生徒一人一人が自分の時間割を持っています。 ・時間割を自分で作るということは、単に科目を選ぶだけでなく、登下校時間や1週間に学習する時間数、さらには卒業までの年数(3年間か4年間か)も自分で決めるということになります。 	
授業	月～金	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として50分×2コマ連続で行います。100分授業です。 ・基礎的な内容の講座から入試演習の講座まで、様々なレベルの講座を設置しています。 ・登校すると各自の授業の教室に向かいます。授業ごとに教室を移動します。 ・授業ごとに違ったメンバーで授業を受けることになります。先輩も後輩も混ざって授業を受けます。 ・100分間、とても静かで落ち着いた雰囲気の中で授業が行われています。これも本校の大きな特長です。
	土曜	<ul style="list-style-type: none"> ・通信制課程のスクーリング(登校しての教科指導)があるので、定時制課程の授業はありません。
ホームルーム(HR)	<ul style="list-style-type: none"> ・週1時間のホームルーム(HR)が時間割に組みこまれ、この時間にクラスのメンバーが集まります。 ・クラス担任はいますが、本校では集団指導よりも個別の相談・指導を大切にしています。 	
伝言システム	<ul style="list-style-type: none"> ・担任や教科からの連絡を伝えるシステムです。生徒はIDカードで自分へのメッセージを確認します。 	
チャイム	<ul style="list-style-type: none"> ・設備はありますがチャイムは鳴らしません。生徒一人一人が時間を管理して教室に入ります。 	
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭、修学旅行、遠足、球技大会などがあります。参加の強制はしません。 	
部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後という時間帯が無いので、時間割の空き時間を利用して部ごとに活動時間を決めています。 	
自習室	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲と仕切られた一人用の机で静かに勉強できます。利用時間は平日 8:45～21:00 です。 	
相談室	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を持たない相談専門の教員が常駐し、常に生徒からの相談に対応しています。 	
制服・上履き	<ul style="list-style-type: none"> ・制服はありません。上履きもありません。 	
体育施設	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館、温水プール、テニスコートなどがあります。敷地が狭いため土のグラウンドはありません。 	
冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ・全教室冷暖房完備です。体育館も冷暖房完備です。 	
進路状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大学、専門学校など多様です。毎年、国公立大や難関私大にも合格者が出ています。 	

2 時程／所属部

- ・1日12時間の授業が行われています。原則として授業は2時間連続、100分授業です。
- ・生徒は普通科1部～4部、情報科2部・4部の合計6部のいずれかに所属して授業を受けます。
- ・所属する部は合格発表時に決定されます。←(入試の出願の際に第6志望まで順位をつけて出願できます)。
- ・在学中に所属部を変更することはできません。

時限	時間	普通科1部～4部 情報科2部・4部				月曜～金曜（土曜の授業はありません）
1・2限	8：40～10：20	1部				所属する部…19単位まで修得できます。 （1日4時間×週5日、うちHR1時間） ＋ その他の部…12単位まで修得できます。 ⇒1年間に合計31単位まで修得できます。
3・4限	10：40～12：20					
5・6限	13：10～14：50		2部			
7・8限	15：10～16：50			3部		
9・10限	17：25～19：05				4部	
11・12限	19：30～21：10					

※4部の生徒には、9・10限と11・12限の間に給食の時間があります。

3 単位・履修・修得

単位	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の量を表す言葉です。1週間に1時間(本校では50分を1時間としています)の授業を1年間通して学習した場合、これを1単位といいます。 ・例えば、数学Ⅰという科目は、本校では1週間に4時間の授業が行われますので、1年間を通して学習すると4単位になります。 ・月曜から金曜まで5日間、毎日6時間の授業を受けると、1週間に30時間分の授業を受けることになります。この場合、1年間を通すと30単位になります。
履修	<ul style="list-style-type: none"> ・ある科目の授業に一定の時間以上出席した場合、その科目の履修が認定されます。 ・欠席が多かった科目については履修が認定されません。 ・履修が認定されなかった場合、それが必履修科目であれば、翌年以降にその科目を学び直します。自由選択科目であれば、別の科目に替えることも可能です。
修得	<ul style="list-style-type: none"> ・履修が認定された科目のみ、5段階で成績(評定)がつきます。 ・「2以上」の成績を修めると、その科目の単位修得が認定されます。 ・成績が「1」となった科目は単位修得が認定されません。この場合、履修のみが認定されます。

4 主たる卒業要件

- ①高校での修業年数が3年間以上
- ②74単位以上を修得
- ③必履修科目をすべて履修
- ④情報科の生徒は、74単位以上のうち情報の専門科目25単位以上を修得

5 必履修科目

教科	必履修科目	
国語	●国語総合（4単位）	
地理歴史	●世界史A（2単位）または 世界史B（4単位） ●日本史A（2単位）または 日本史B（4単位）	
公民	●現代社会（2単位） または 倫理（2単位）と 政治経済（2単位）	
数学	●数学Ⅰ（4単位）	
理科	●物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎（各2単位）のうちから3科目	
保健体育	●体育（7単位） ●保健（2単位）	
芸術	●音楽Ⅰ、美術Ⅰ、工芸Ⅰ、書道Ⅰ（各2単位）のうちから1科目	
外国語	●コミュニケーション英語Ⅰ（4単位）	
家庭	●家庭総合（4単位）	
情報	（普通科）	●情報の科学（2単位）
	（情報科）	●情報産業と社会（2単位） ●課題研究（2単位）
人間と社会	●人間と社会（1単位）	
総合的な探究の時間	●総合探究（3単位）	

入学者選抜について

1 受検資格

詳細は本校の「募集案内」でご確認ください。12月19日(土)から本校にて配布開始の予定です。

※願書提出時に高校及び高等専門学校に在籍している方には受検資格はありません。

在籍している方が出願する場合には、現在籍校を遅くとも1月中には退学しなければなりません。

2 区分

(1) 推薦選抜 …都内の中学校卒業見込者。情報科のみの募集。

(2) 学力選抜

①「第1学年相当」

・中学校卒業見込者。

・または中学校卒業で、高校及び高等専門学校で修得した単位数の合計が 18単位以下。

②「第2学年相当以上」

・高校及び高等専門学校に1年以上在籍し、その在籍校で修得した単位数の合計が 19単位以上。

※上記の単位数に、大検・高認での取得単位、各種学校・専修学校の単位は含みません。

※本校「第2学年相当以上」と「第1学年相当」との併願はできません。

【注意】

① 高校及び高等専門学校で修得した単位について

最終在籍校が発行した成績証明書(書式は「募集案内」の中)を出願時に提出していただきます。

本校所定の「成績証明書」以外では受け付けられませんので注意してください。

修得単位があるにもかかわらず、出願時に所定の成績証明書を提出しなかった場合は、事実と反する出願として入学を取り消すことがあります。

② 大学入学資格検定および高等学校卒業程度認定試験で合格した科目の単位について

一部科目合格者は「科目合格証明書」または「科目合格通知書」の、全科目合格者は「科目合格証明書」の原本とコピーを、入学手続き期間中(下表参照)に入学手続き書類と一緒に提出してください。

本校が定める規定に従って単位を認定します。この期間に提出がない場合は単位を認定できません。

③ 各種学校・専修学校の単位は、認定できません。

3 令和3年度の入学者選抜

【日程】

	推薦選抜	学力選抜
出願	令和3年1月12日(火)から 1月15日(金)まで	令和3年1月29日(金)から 2月4日(木)まで ※取り下げ・再提出はありません。
検査日	令和3年1月26日(火)	令和3年2月19日(金)…第2学年相当以上 21日(日)…第1学年相当
合格発表・手続き	令和3年2月2日(火)・3日(水)	令和3年3月2日(火)・3日(水)

※出願は郵送(上記出願受付期間に、指定する郵便局に必着(郵便局留))により受付

【募集人数】

(1) 推薦選抜 情報科(2部・4部) 19名

(2) 学力選抜

①「第1学年相当」 普通科(1部~4部) 100名

情報科(2部・4部) 46名

②「第2学年相当以上」 普通科(1部~4部) 50名

※令和2年度選抜(前回)の募集人数です。令和3年度的人数はまだ発表されていません。

4 選考方法と点数の内訳

(1) 推薦選抜

調査書点	個人面接点	作文点	総合成績
450 点	400 点	200 点	1050 点

(2) 学力選抜

① 「第1学年相当」

調査書点	学力検査点（国語、数学、英語）	面接点	総合成績
300 点満点に換算	700 点満点に換算	135 点	1135 点

※ 調査書点と学力検査点の比率は、3 : 7 です。

※ 調査書点は、学力検査を実施する教科（国語、数学、英語）の評定を1倍、学力検査を実施しない教科（社会、理科、音楽、美術、保健、技家）の評定を2倍として算出します。

こうして得られた75点満点を300点満点に換算します。

※ 学力検査は各50分で行います。学力検査点は3教科で300点満点を700点満点に換算します。

※ 面接は集団面接です。

② 「第2学年相当以上」

学力検査点（国語総合、数学Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅰ）	面接点	総合成績
300 点	45 点	345 点

※ 学力検査は各40分で行います。

※過去の問題

「第1学年相当」 …都立高校の共通問題なので市販されています。

「第2学年相当以上」 …本校の独自問題です。前回入選の問題を本校で配布しています。

5 情報科－推薦選抜における評価の観点について

1 個人面接の評価の観点

・コミュニケーション能力

質問の内容を理解した上で自分の考えを述べられるとよいでしょう。

・思考力・判断力・表現力

自分の知識や経験をもとにした意見を述べるとともに、伝える相手に応じた表現ができるとよいでしょう。

・志望動機、学習意欲、適性・興味、基本的生活習慣

本校の期待する生徒の姿をよく読んで、その内容についてまとめておくとよいでしょう。

2 作文の評価の観点

・文章量

規定の字数を書いてください。

・表現能力

正しい漢字、適切な言葉遣いで文章を書いてください。

・出題内容に対する理解力

出題内容に見合った内容の文章を書くようにしてください。

・文章の具体性

自分の体験など、具体的な例を含んだ内容の文章が書けるとよいでしょう。

・文章の構成力

規定の字数の中で筋道を立てて、順序よく文章が書けるとよいでしょう。

6 志望の順位について

- (1) 推薦選抜 …出願時に、情報科2部か情報科4部か、どちらか1つを指定します。
第2志望はありません。
- (2) 学力選抜
- ①「第1学年相当」 …普通科（1～4部）、情報科（2部・4部）の6つの部で募集します。
出願時に、第1志望から第6志望まで記入することができます。
- ②「第2学年相当以上」 …普通科（1～4部）の4つの部で募集します。
出願時に、第1志望から第4志望まで記入することができます。

7 合格者の決め方

- (1) 推薦選抜
総合成績順に募集人員までを合格候補者とします。
- (2) 学力選抜
「東京都立高等学校入学者選抜実施要綱」の中で、次のように定められています。一部を抜粋します。

- (1) 各部（科を含む。以下同じ。）の募集人員を合計した人員を、総合成績の順により決定する。
- (2) 部ごとに、前項(1)の人員のうち、その部を第1志望とした者の中から合格候補者を決定する。
第1志望で募集人員に達しない部は、その不足人員を(1)の人員のうちから志望の順位に基づき、総合成績の順に充足する。
- (3) (2)の方法により充足しない部がある場合、当該の部について、合格候補者となっていない受検者の中から、総合成績の順に、当該の部の志望の有無に基づき充足する。その際、充足しない部が複数ある場合は、総合成績の順に、当該の部の志望の有無に基づき、志望の順位により充足する。

以上の記載を、もう少し具体的に説明します。

- 「第1学年相当」
例として、普通科1～4部と情報科2・4部の募集人員を合計して146名を学力選抜の募集人員とします。
- ① まず、総合成績順に上位146名までを合格候補者とします。
- ② 次に、上位146名の第1志望に基づいて、総合成績順に各部（合計6部）の合格候補者を、各部の募集人員に達するまで決めます。ここで、第1志望にした部がすでに募集人員に達してしまった場合、その合格候補者は、第1志望では合格部が決まりません。
- ③ 第1志望で募集人員に達しない部がある場合は、第1志望で合格部が決まっていない合格候補者の第2志望に基づいて、総合成績順に各部の合格候補者を決めます。この時、第2志望以下を記入していなければ不合格になります。
- ④ それでも、まだ募集人員に達しない部があれば、第3志望に基づいて、総合成績順に各部の合格候補者を決めます。この時、第3志望以下を記入していなければ不合格になります。以下、第6志望まで同様の手順によって各部の合格候補者を決めます。
- ⑤ 上位146名の第6志望までを確認して、なお募集人員に達しない部がある場合は、合格候補者となっていない受検者（147位以下）の中から、その部の志望が有る受検者を総合成績順に合格候補者とします。
- ★上位146名までに入って、なおかつ第6志望まで記入してあれば、必ずいずれかの部に合格します。
その一方で、上位146名までに入っても、志望順位を途中までしか記入していないと、志望した部が募集人員に達した場合には、不合格となることがあります。

- 「第2学年相当以上」
第1学年相当と同様にして決定します。
ただし、第2学年相当以上は編入学試験のため、合格者数が募集人員に満たないことがあります。

8 過去3年間の状況

- ・倍率は（応募人数÷募集人数）で計算した値です。
「第1学年相当」の学力選抜は、普通科と情報科（推薦を除く）をまとめて計算してあります。
「第2学年相当以上」の学力選抜は普通科の各部をまとめて計算してあります。

年度	区分	第1学年相当						第2学年相当以上					
	学科	普通科				情報科		普通科					
	選抜	学力選抜						推薦選抜		学力選抜			
	部	1部	2部	3部	4部	2部	4部	2部	4部	1部	2部	3部	4部
2018 H30	募集数	100				46		19		50			
	応募数	208						31		18			
	倍率	1.4						1.6		0.4			
	合格数	30	30	30	20	38	18	18	1	3	5	1	0
2019 H31	募集数	100				46		19		50			
	応募数	209						33		6			
	倍率	1.4						1.7		0.1			
	合格数	30	30	30	20	37	19	19	0	0	4	1	0
2020 R2	募集数	100				46		19		50			
	応募数	209						30		21			
	倍率	1.4						1.6		0.4			
	合格数	30	30	30	20	39	17	17	2	0	4	1	0

9 本校の期待する生徒の姿／自己PRカードの書き方

	本校の期待する生徒の姿
定時制課程 普通科 1～4部	<p>本校は、単位制・無学年制の昼夜間定時制高校です。普通科Ⅰ部・Ⅱ部・Ⅲ部・Ⅳ部と情報科Ⅱ部・Ⅳ部の合計6部を設置しています。生徒一人一人が進路や興味に応じて科目を選び、時間割を作成し、静かで落ち着いた教室の中でしっかり勉強することができます。本校は、以下のような生徒の入学を期待します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本校の特色である単位制・無学年制についてよく理解していること 2 自ら目的をもって学習に取り組めること 3 本校での学習を、将来の進路実現に生かそうとする意志のあること
定時制課程 情報科 2部・4部	<p>本校は、単位制・無学年制の昼夜間定時制高校です。普通科Ⅰ部・Ⅱ部・Ⅲ部・Ⅳ部と情報科Ⅱ部・Ⅳ部の合計6部を設置しています。生徒一人一人が進路や興味に応じて科目を選び、時間割を作成し、静かで落ち着いた教室の中でしっかり勉強することができます。本校は、以下のような生徒の入学を期待します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本校の特色である単位制・無学年制についてよく理解していること 2 自ら目的をもって学習に取り組めること 3 本校での学習を、将来の進路実現に生かそうとする意志のあること 4 情報科目に興味・関心を有すること <p>※ 特に推薦選抜においては、出席状況が良好であること、さらに、人前での発表等に意欲があり、資格取得に関心があることが望ましい。</p>

自己PRカード (推薦選抜用見本)

年 月 日

東京都立新宿山吹高等学校長 殿

_____ 立 _____ 中 学 校
氏 名 _____

1 志望理由について

(この学校を志望した理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなどについて『本校の期待する生徒の姿』を参考にして記入しましょう。)

「本校の期待する生徒の姿」を参考にしてください。その上で学校説明会での説明や学校案内・パンフレットを活用したり、他の単位制の学校と比較したりして本校の特色である「単位制・無学年制」をよく理解してから記入するとよいでしょう。
将来の進路に関連づけて入学後、本校の情報科で学びたいことを具体的に記入するとよいでしょう。また、入学後してみたい特別活動(部活動・生徒会活動等)について記入してもよいでしょう。

2 中学校生活の中で得たことについて

(中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことを選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入しましょう。)

各学年で活動したこと、あるいは3年間継続して活動したことなどの中から、伝えたいことを選び、その体験から得たことについて具体的に記入するとよいでしょう。ある一時期の活動についてでもかまいません。さらに、人前での発表の経験(例えば、学校での学習発表や演劇部などの公演、学校外でもピアノの発表会など)や、現在取得している資格(例えば、英検3級・無線従事者4級・剣道初段など)を記入してください。

3 高等学校卒業後の進路について

(将来の夢や目標、将来なりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。)

・いま自分が思い描いている将来の目標
・将来就きたい職業やその理由およびその職業に就くために行っている努力
・高校卒業後の進路希望
などについて、自分が考えていることを具体的に記入しましょう。

(注意) 志願者が黒のボールペンで記入する。なお、コピー等鮮明な表記のものは認める。
第1学年相当の志願者のみ提出する。

自己PRカード (学力選抜用見本)

年 月 日

東京都立新宿山吹高等学校長 殿

_____ 立 _____ 中 学 校
氏 名 _____

1 志望理由について

(この学校を志望した理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなどについて『本校の期待する生徒の姿』を参考にして記入しましょう。)

「本校の期待する生徒の姿」を参考にしてください。その上で学校説明会での説明や学校案内・パンフレットを活用したり、他の単位制の学校と比較したりして本校の特色である「単位制・無学年制」をよく理解してから記入するとよいでしょう。

将来の進路に関連づけて入学後、本校で学びたいことを具体的に記入するとよいでしょう。また、入学後してみたい特別活動(部活動・生徒会活動等)について記入してもよいでしょう。

2 中学校生活の中で得たことについて

(中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことから選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入しましょう。)

各学年で活動したこと、あるいは3年間継続して活動したことなどの中から、伝えたいことを選び、その体験から得たことについて具体的に記入するとよいでしょう。ある一時期の活動についてでもかまいません。また高等学校に在籍の経験のある場合には、その期間の活動について記入してもよいでしょう。

※事情があって長期欠席の場合には、その期間内に活動したことあるいは考えたことについて具体的に記入するとよいでしょう。

3 高等学校卒業後の進路について

(将来の夢や目標、将来なりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。)

- ・いま自分が思い描いている将来の目標
- ・将来就きたい職業やその理由およびその職業に就くために行っている努力
- ・高校卒業後の進路希望

などについて、自分が考えていることを具体的に記入しましょう。

(注意) 志願者が黒のボールペンで記入する。なお、コピー等鮮明な表記のものは認める。
第1学年相当の志願者のみ提出する。

生活指導部より

新宿山吹高校では、一人ひとりの生徒が「安心して学べる環境」づくりを目指し、卒業までに基本的な生活習慣や社会性を身に付けられるように指導しています。

また、本校の校風である「自主・自律」の精神を尊重し、頭髪や制服などの細かい校則はもうけていませんが、他人の迷惑となる反社会的な行動や法律に反することをを行った場合には、それ相応の指導を行っています。

●法律や規則で定められている事項を守るよう指導しています。

未成年者の飲酒や喫煙はもちろんですが、20歳以上でも校舎敷地内でのこれらの行為は指導の対象となります。

●自動車・バイク（原付を含む）による通学は禁止しています。自転車通学は届出制です。

令和元年4月より自転車に乗る場合には、保険への加入が義務付けられています。

●暴力（暴言）やいじめ、授業妨害等の他人を傷つける行為に対しては厳しく指導します。

このような行為を行った場合には、生活指導部を中心として特別指導の措置がとられます。また、繰り返し行う場合や悪質な行為には、進路変更の措置をとる場合もあります。

生活指導部においては、

1. 定期的に校内・校外巡回を実施することで、生徒の安全権を保障する。また、生活上の問題等が起こった場合には、担任や各家庭と連携しながら生徒の成長・発達に即して、問題解決に努めています。
2. ネット関係、消費者教育、迷惑行為、犯罪に関わる行為について、特に高校生が被害者・加害者になりうるテーマに関して、セーフティ教室などの行事を通して指導しています。
3. 適宜、その時点で問題になっているテーマについて、集会などで生活指導部からの注意を喚起しています。

★部活動について

生徒の空き時間及び施設の空いている時間に、原則として顧問の監督・指導のもと活動しています。複数の部に所属し活動している生徒もたくさんいます。昨年度は、自転車競技部、卓球部、陸上競技部が全国大会に出場したほか、多くの部が定時制・通信制の大会等で優秀な成績を収めています。

★生徒の登下校時間について

エントランス（入口）のドアが開く（開錠）のは、7時45分です。原則としてそれまでは校内には入れません。下校時刻は、通常時は21時20分、学校行事にある日（健康診断・生徒総会・キャリアガイダンス等）は19時00分、長期休業中は18時00分となります。これ以降に校内に残って活動することは原則としてありません。

本校は他校に比べればある意味「自由」な学校です。しかし、「自由」には重い「責任」も伴います。「自由」の意味をよく考えて、自己管理を徹底し、より有意義な高校生活を送ってもらえるよう望んでいます。

本校の進路活動について

学校案内パンフレット『進路一覧』にある通り、生徒は卒業後、多種多様な進路を実現しています。このような個性も資質も幅広い新宿山吹高校の生徒の出口として進路を扱うため、進路指導部は、専任教員4名、進路部兼任教員7名の計11名で対応しており、他校と比較しても極めて『大所帯』です。

多くの生徒が1つの方向の指導ではなく、『個』に対応しなければいけないため、その生徒に応じた言葉や姿勢で話し合い、考えさせ、実行してもらって進路実現にこぎつける粘り強い対応が大切です。目に見える結果としての進路先一覧はありますが、それまでの紆余曲折にこそ、新宿山吹高校の本当の姿があると思います。ただ、進路部として共通して訴えていることは「なるべく大学に行くこと」です。

現在、一昔前に比べても『自分の生き方』、『やりたい仕事』を重視して、30歳近くになるまで、モラトリアムを生きる青年が増えてきました。このような社会の風潮もさることながら、特に本校の生徒は、デリケートな感性・深い思索力を持ちながら、まだ社会性という意味では未熟さも多く見られます。視野も広くはありません。そこで、大学で勉強することはもちろんですが、色々な意味で人生経験を積み、自分探しをするためにも、上級学校としての大学に行くことを薦めています。

また、この学校の生徒は総じてしっかりとした能力を持っています。その能力は時として『特化』されたものにもなっています。繊細で優しく、確かな能力を持っている新宿山吹高校の生徒を、その個性に傷をつけずに開花させることができるよう、進路部一同、丁寧に対応していくつもりです。

2019年度卒業生の合格実績・進路先(定時制課程)

【4年制大学】	《国立大学》 静岡大学 中国華東師範大学 富山大学 都立大学 北海道大学(2) 横浜国立大学 《私立大学》 青山学院大学 亜細亜大学(4) 江戸川大学 大妻女子大学(2) 学習院女子大学 学習院大学(2) 神奈川大学 共立女子大学(2) 近畿大学(2) 慶応義塾大学 恵泉学園大学 国際医療福祉大学 駒澤大学(2) 芝浦工業大学(3) 城西国際大学 上智大学(3) 尚美学園大学(3) 昭和女子大学(2) 成蹊大学(2) 成城大学(2) 専修大学(4) 洗足学園音楽大学 大東文化大学(4) 高千穂大学 拓殖大学 玉川大学(2) 千葉工業大学 中央大学(4) 筑波学院大学 津田塾大学 帝京大学(3) 帝京平成大学 東海大学 東京家政大学(2) 東京経済大学 東京工科大学(2) 東京工芸大学(2) 東京成徳大学 東京電機大学(3) 東京農業大学(8) 東京福祉大学 東京未来大学 東京理科大学(8) 東邦大学 東洋学園大学 東洋大学(9) 獨協大学(2) 日本社会事業大学 日本女子大学 日本大学(9) 白鷗大学 文京学院大学 法政大学(16) 星薬科大学 武蔵大学(8) 武蔵野大学(3) 明治学院大学 明治大学(10) 明星大学(2) 目白大学(2) 酪農学園大学 立教大学(7) 立命館大学 ルーテル学院大学 早稲田大学(9) 和洋女子大学(2) Brigham Young University
【短期大学】	実践女子大学短期大学 上智大学短期大学 女子美術大学短期大学
【専門学校・各種学校等】	織田ファッション専門学校 タカラ美容専門学校 中央動物専門学校 東京アニメーションカレッジ 東京医薬専門学校 東京環境工科専門学校 日中学院 日本工学院専門学校 日本電子専門学校 日本フレーザー・フレグランス学院 YMCA 社会体育・保育専門学校
【専門職大学】	情報経営イノベーション専門職大学
【就職】	FC東京 株式会社じんまる 株式会社 GENKI 株式会社京樽 自衛官 自営業 特別区(東京23区)